

まちのにぎわいづくりプラン

令和3年3月

神 栖 市

目 次

1. まちのにぎわいづくりプランの背景・目的・方針.....	1
1-1 プラン設定の背景.....	1
1-2 プランの位置づけと目的・狙い.....	1
1-3 プランの方針.....	7
2. まちのにぎわいづくりプランの施策対象について.....	8
2-1 「息栖神社」, 「神之池」の施策案.....	8
2-2 プランの施策対象の整理.....	19
2-3 プランの施策対象候補施設.....	21
3. 今後の進め方.....	25

1. まちのにぎわいづくりプランの背景・目的・方針

1-1 プラン設定の背景

まちのにぎわいを形作るものとして、定住者である「定住人口」に加え、観光にきた「交流人口」、さらには地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目した施策が重要であると、平成 28 年総務省に設置された「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」において議論され、地方創生の第2期の柱として打ち出されている。（地方創生の第1期の柱は交流人口の取り込み）

本市は、千葉県と接しており、東京都との往来も盛んである。波崎地域を中心としたサッカー合宿には毎年定期的に全国からの来訪が見込めているが、よりにぎわいを支える人口を増加させるためには、新たなにぎわいづくりが必要と考える。また、2020 年より猛威をふるう新型コロナウイルス感染症により一時的に人の多く集まることに対しての社会的な見方の変化が生じている。新たなにぎわいづくりには、局地的なにぎわいとして、人を集めるだけでなく、定常的なにぎわいの創出が求められてくるようになった。定常的なにぎわいづくりと経済性の両立を目指し、ここに新たにまちのにぎわいづくりプラン（以下本プラン）を展開するものとする。

1-2 プランの位置づけと目的・狙い

本プランは、平成 27 年に策定した「神栖市人口ビジョン」を基にした「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点プロジェクト②イメージアップ・定住促進プロジェクトと連携しながら行うものと位置づけ、本市への新しい人の流れを創出することを目指す。

都市圏と本市の交流によって人の流れを生み、本市の地域経済を支える人材を確保し、将来的には移住につなげる必要がある。本プランにおいては、定住人口・交流人口・関係人口をそれぞれ区分せず、すべて神栖市の「にぎわいづくり人口」として捉え、「にぎわいづくり人口」の増加・「にぎわいづくり人口」同士の交流による関係性の深化を狙う。

「にぎわいづくり人口」の増加につなげるためには、「にぎわいづくり人口」と本市の魅力（人・場所）との交流機会を増やすことが必要だと考えられる。

新しい人の流れをつくり、交流させるために、現状の来訪動向より多くの人に「目的地」として選ばれている本市が誇る「息栖神社（東国三社）」の魅力を重点的に発信し、周遊起点とすることで、「にぎわいづくり人口」を増やし地域の活性化を狙う。また、「にぎわいづくり人口」の交流が、首都圏からの高速バス停留所として公共交通機関の拠点である「鹿島セントラルホテル」と「息栖神社」*の往復にとどまらせないために、「神之池」エリア周辺や各観光拠点施設の魅力開発を行うことで広域への周遊を促進させ、点から線、線から面の展開を狙うものとする。* 現状の市内来訪状況＜資料 1-2-2: 地域経済分析システム（RESAS データ）＞参照

本プランではにぎわいづくり人口が、豊かな経験をする事で高い価値を感じることに相関をもつ項目をあげた。それぞれの施策は、以下の目的をもつもので構成する。

* 定義内容は＜資料 1-2-1:概要イメージ＞参照

＜資料 1-2-1:概要イメージ＞

2

神栖市への新しい人の流れをつくる

ブランド力の向上や地域資源を活かした観光の充実、住宅取得の支援などを通じて、神栖市への新しい人の流れをつくり、交流人口・定住人口の増加を目指します。(第二次神栖市総合計画より)

- ・交流人口が豊かな経験を、多くの地点ですること、神栖ブランドにふれる機会を増やす。
- ・市民ブランドを向上させ、交流人口に魅力的な神栖市民を認知してもらうことで、定住人口の増加を目指す。

◆豊かな経験としての指標：価値を感じることの相関式

人数 × 1箇所あたりの消費単価
× [平均来訪地点数(×情報認知拡散係数)]

× ◆神栖ブランド力の向上

目的

- ①利用・集客数増加(人数)
- ②みどころ増加(来訪地点数)
- ③経済効果の向上
(1箇所あたりの消費単価)
- ④周遊情報の告知・拡散
(情報認知拡散係数)

- ⑤シビックプライドの醸成
- ⑥健康増進・運動習慣促進
- ⑦市民生活向上

- ⑧効果の維持

にぎわいづくり人口

- ・①利用・集客数増加のため、近年知名度が上昇している「息栖神社」の開発に着手する。
- ・「息栖神社」は、「神之池」とともに、神栖市の市名のルーツであり、「息栖神社・神之池」の開発は、⑤シビックプライドの醸成にも資するものだと考える。

＜資料 1-2-2 地域経済分析システム(RESAS データ)※＞

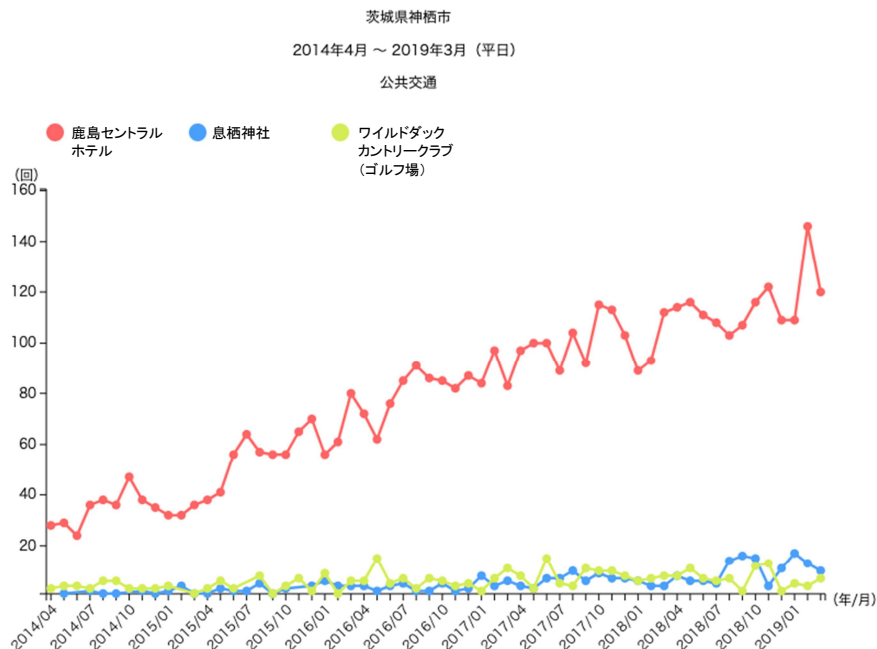
地域経済分析システム(RESAS)の観光マップ(国内)目的地データを用いて、神栖市の目的地分析(平日・休日公共交通機関利用／平日・休日自動車利用)を行った。

目的地分析とは、経路検索サービスの利用情報を基に、検索回数の多い観光施設などを示すことが出来る。

神栖市内の公共交通利用者のうち検索回数は、平日休日ともに鹿島セントラルホテルが最も多く、次いで、息栖神社が多い。

■目的地分析(平日)公共交通検索者数

目的地検索回数の推移



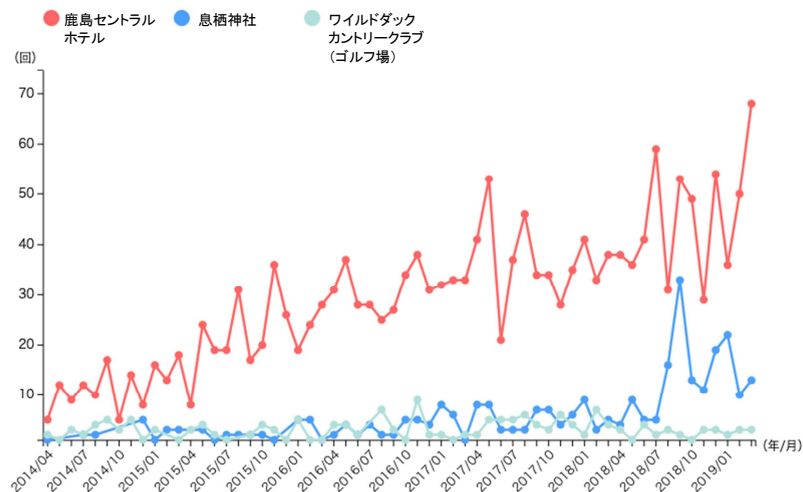
※RESAS(リーサス)は、日本・内閣府のまち・ひと・しごと創生本部が運用している、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のいわゆるビッグデータを集約し、可視化を試みるシステム。

目的地検索回数の推移

茨城県神栖市

2014年4月～2019年3月（休日）

公共交通



神栖市内の自動車利用者のうち検索回数は、平日休日ともに鹿島セントラルホテルが最も多く、次いで、息栖神社、ワイルドダックカントリークラブ(ゴルフ場)の順に多くなっている。

また、息栖神社は、近年検索回数が特に増加傾向にある。

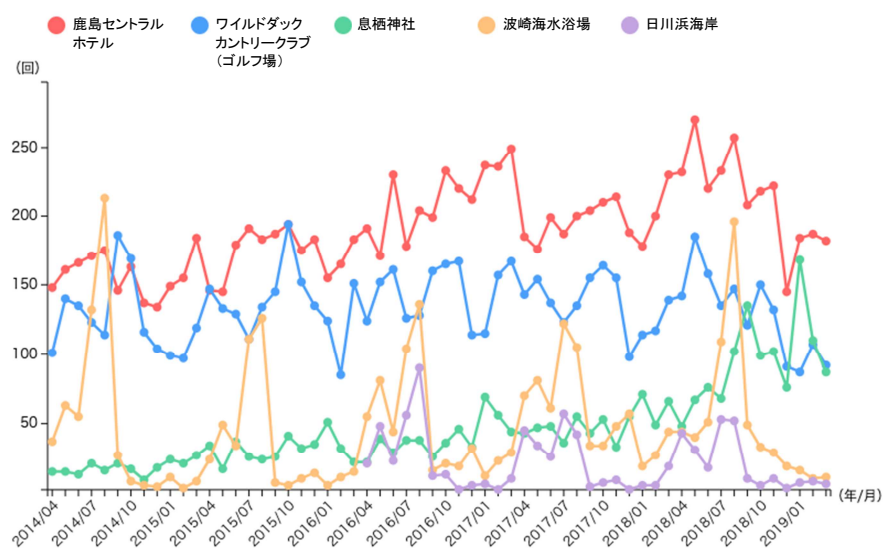
■目的地分析(平日)自動車利用者

目的地検索回数の推移

茨城県神栖市

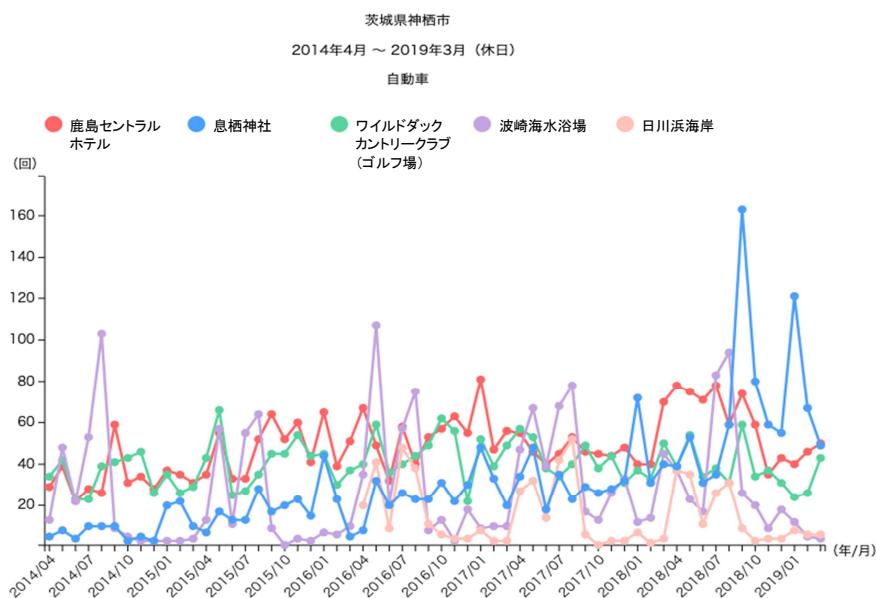
2014年4月～2019年3月（平日）

自動車



■目的地分析(休日)自動車利用者

目的地検索回数の推移



【出典】

株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

【注記】

検索回数は同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。

- ・施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当
- ・年間検索回数が自動車は 50 回、公共交通は 30 回以上
- ・年間検索回数が全国 1000 位以内または都道府県別 50 位以内または市区町村別 10 位以内

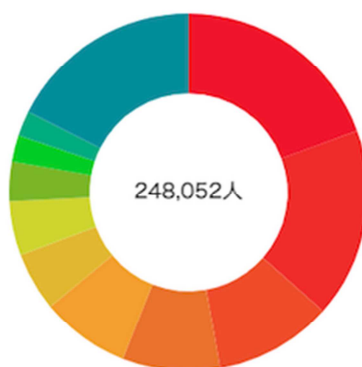
神栖市内の検索回数は、2019 年 1 月時点では、息栖神社、鹿島セントラルホテル、ワイルドダックカントリークラブ(ゴルフ場)の順で目的地として検索されている。

<参考データ>

地域経済分析システム(RESAS)の観光マップ(国内)From-to 分析(宿泊者)から本市の外部からの来訪として、2019年の本市のべ宿泊者数(日本人)の構成割合をみると、東京都に続き千葉県からの来訪が多い。

居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合

茨城県神栖市
2019年



- 1位 東京都 48,109人 (19.39%)
- 2位 千葉県 42,513人 (17.14%)
- 3位 神奈川県 26,393人 (10.64%)
- 4位 埼玉県 21,840人 (8.80%)
- 5位 茨城県 19,863人 (8.01%)

【出典】

観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

【注記】

観光予報プラットフォームでは、日本全体の宿泊実績データのうち、1億3,000万泊以上(2019年5月現在)のサンプリングデータ(店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売)を抽出し、宿泊者数の実績データを算出している。

各データ・情報の提供元は非公開としている。

1-3 プランの方針

本プランの背景・目的をうけ、各施策実施にあたる方針としては以下を打ち出す。

【まちのにぎわいづくりプランの方針】

1

市外から多くの人を訪れている「息栖神社」をPRし、さらなる「にぎわいづくり人口」の増加を図る。

2

「息栖神社」にて周遊の情報を提供し、息栖神社を起点とした周遊体制を構築・促進させ、増加した「にぎわいづくり人口」を市内に拡散させる。

3

拡散の方向性としては、公共交通拠点である「鹿島セントラルホテル」に加え、「神之池」周辺エリアや各観光拠点施設の開発をすることで、点から線、線から面の展開を狙う。

4

一極集中集客にならない継続的な取組・経済的な継続性（市内飲食店等の利用や、滞在時間延長による宿泊促進など）を重視する。

2. まちのにぎわいづくりプランの施策対象について

2-1 「息栖神社」,「神之池」の施策案

方針に基づき, にぎわいづくり人口を増やすため, 近年注目を浴びている「息栖神社」と, 「息栖神社」と同じく, 神栖市の市名の由来となっており, 市民ブランドの向上に資する「神之池」について施策案を提示する。

2-1-1 息栖神社の現状



表 息栖神社の概要

所在地	茨城県神栖市息栖 2882
管理者	息栖神社社務所
問合せ	0299-92-2300
駐車場	バス:4 台 乗用車:60 台
年間来訪者数	51, 630 名(2019 年度) ※御朱印帳購入者数
敷地面積	約 36, 000 m ² (神社敷地)

●現況

「神栖」の市名の由来にもなった息栖神社は、江戸時代より、風光明媚な景色が当時から名高かったことから東国三社詣（東国三社＝鹿島神宮、香取神宮、息栖神社）が盛んであった。近年、テレビなどのメディアに取り上げられたこともあり、息栖神社を訪れる人が増加している。

●参道

神社敷地にある「二の鳥居」から、船溜まり手前の「一の鳥居」までは約 150mあり、一の鳥居横には「忍潮井（おしおい）」と呼ばれる井戸がある。

この2点間が息栖神社における参道で、観光客が行き来するエリアとなっている。

参道沿いに老朽化した空き家があり、対応が必要な状況となっている。

●駐車場

二の鳥居の左右に息栖神社の駐車場が2箇所整備されており、バス 4 台・乗用車 60 台の収容能力を有している。近年の観光客増加などにより、路上駐車や交通渋滞が発生し、地元地区より対応要望があり、令和3年度中に市所有地に駐車場の整備を予定している。

●交通

神栖市コミュニティバスのうち、息栖神社を経由する路線は、息栖神社～ふれあいセンター湯楽々間と鹿島神宮駅～小見川駅間の 2 系統運行されており、いずれも本市の主要交通拠点である鹿島セントラルホテルを全便が経由する。

しかしながら、あくまで市民活動が優先のダイヤであり、1 日の運行便数はいずれも 6 便（行き 3 便・帰り 3 便）あるものの、来訪者にとって利便性の高い設定とはなっていないため、観光客の多くが自家用車（または貸切バス）で訪れているのが現状である。

●飲食店等

参道には、日用品や食料品を扱う地元商店はあるが、観光客の利用が想定される飲食店等がないのが現状である。

2-1-2 息栖神社についての市民の意見

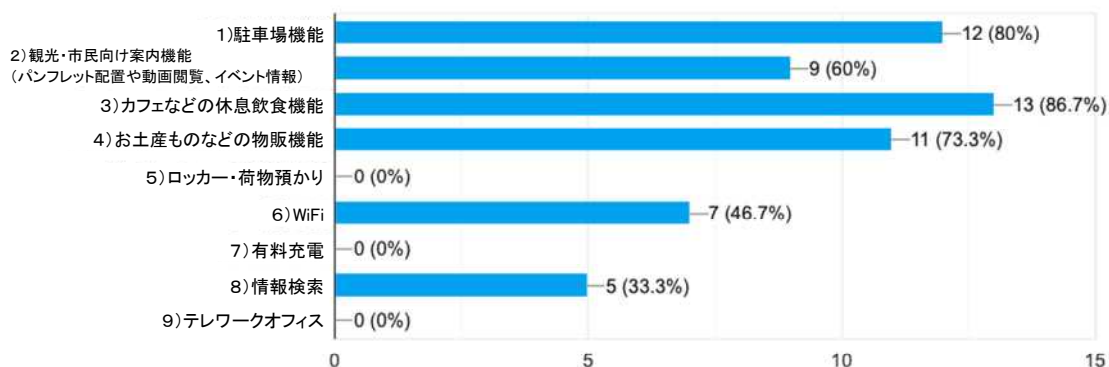
◆住民ヒアリング調査より

- ・初詣に東国三社を訪れる人が多いが、そのほとんどは地元の住民である。
- ・息栖神社は東国三社参りの一社だが、観光バスでも滞在時間が短いので、見どころを増やしてゆっくり散策してほしい。一方で、息栖神社は静かなところが良いという人もいる。
- ・東国三社共通のお守りをつくり、観光客が増加した。
- ・息栖神社を訪れる人は、鹿島神宮⇒息栖神社⇒香取神宮の順でまわるので、お昼の時間帯に多くの人が集まる傾向にある。
- ・東国三社や他地域のサイクリングロードを活用して、一つの通過点として活用してほしい。
- ・息栖神社の休憩所をつくり、団子・まんじゅうを置けば良いと思う。
- ・各施設(例：息栖神社)の近くに何か立ち寄れるスポットがあればよい。
- ・ロコミでは、神社の周りに店が少ないほうが良い、という意見も多い(空気がきれいではっきりと、など)ので、心の安らぎを感じられる場所を目指したい。将来的には、喫茶店などがあればよいと思う。雰囲気は崩さず、うまくバランスを取っていくことが大切である。
- ・息栖神社周辺の市有地の活用として、チェーン店をつくることは止めてもらいたい。
- ・静かさとにぎわいのバランスが大切である。サイクルステーションや休憩所をつくり、拠点にしてほしい。また、森は少なくなっているが、息栖神社周辺には森がある。森がきれいになってほしい。
- ・神栖市は、昔からサッカー合宿の聖地であった。スポーツやキャンプ、海水浴のできる街へと成長し、その中で息栖神社も訪問してもらいたい。
- ・3年前に息栖神社がテレビ4番組で紹介されたのを機に、急ににぎわいが生まれた。
- ・お土産屋さんが並んでいるのは俗っぽいと考える人もいる。来訪する人は、信仰心が強い人も多い。
- ・交通の便がとても悪い。市のバスなども走っているが、車で来る人が多い。
- ・セントラルホテルでタクシーのレンタルサービスなどがあれば交通の便が向上する。
- ・国道沿いにチェーン店が多数あるので、経済的な集客はあると思う。
- ・メディア(テレビ)での発信で息栖神社の観光客が増えたので、マスコミによるPRも必要
- ・コロナで観光客が減少しているので、リピーターを確保することは大切である。
- ・気候も温暖・冷涼なので、ワーケーションの拠点として成長できていると思っている。

◆ワークショップ

・カフェなどの休憩飲食機能や、駐車場機能、お土産物などの物販機能が必要だと思われるとの意見が多く寄せられた。特に駐車場については大型バスが止められる駐車場について意見が寄せられた。

Q 息栖神社の市民・観光客の来訪向上について、観光拠点となる施設等を検討しています。どんな機能があればいいか優先度が特に高いと感じたものを全てお選びください。(回答者:15人)



・その他の意見

息栖神社で独自に行われるイベントの実施(例:地域猫, バードウォッチング, 森林浴など), 遊歩道の整備, トイレの整備などの意見がでた。

2-1-3 息栖神社周辺の施策素案

息栖神社、参道エリアの現状、ヒアリング調査結果、ワークショップを踏まえ、息栖神社周辺（主に参道エリア）の施設整備の方向性については、以下のとおりとする。

課題①

参道等に立ち寄る場所がなく、滞在時間が非常に短いため、観光客のニーズに合ったサービスの提供が必要である。

整備 方向 性

参道エリアには、以下のような機能を持った施設等の整備の検討を行う。

1. 市内の観光情報の提供
2. 飲食・お土産等の提供
3. 休憩など気軽に利用できるフリースペース

※なお、検討にあたっては、観光客及び周辺住民（地元地区）などの意見を十分聴取した上で行う。

課題②

「景観・街並み」「歴史・文化」を意識した（損なわない）もので、「何もない良さ」も尊重した整備であることが必要である。

整備 方向 性

施設等の整備にあたっては、以下のような点に留意する。

1. 息栖神社の歴史・文化に敬意を払う。
2. 周辺の景観に配慮した施設を整備する。
3. 過度な装飾は行わない、騒音防止、渋滞回避、安全対策等に努める。
4. 周辺森林を生かし、自然とふれあえる施策等を検討する。

※なお、検討にあたっては、周辺住民（地元地区）及び息栖神社管理者などの意見を十分聴取した上で行う。

課題③

息栖神社のみならず、周辺市町村を含む周遊観光の拠点となるべき機能を持つことが求められる。

整備 方向 性

周遊観光の拠点となるべき機能として、以下のようなものが考えられる。

1. 周辺市町村を含む観光情報の提供
2. 持続可能な観光振興が図れるよう、周辺市町村を含めた普及啓発
3. 大型バスなどが駐車しやすい駐車場の整備
4. 自転車を活用できる環境の整備
5. 市内周遊のための二次交通の整備

※なお、検討にあたっては、周辺住民（地元地区）及び息栖神社管理者などの意見を十分聴取した上で行う。



図 息栖神社に関する施策素案

2-1-4 神之池の現状



表 神之池の概要

所在地	茨城県神栖市溝口	
管理者 問合せ	緑地：神栖市施設管理課 TEL 0299-90-1111(代) 施設：神栖市文化・スポーツ振興公社 TEL 0299-96-7700	
駐車場	無料 400 台	
施設一覧	・神栖市市民体育館 ・神栖市中央公民館 ・神之池陸上競技場 ・神之池野球場 ・神之池パターゴルフ場 ・神栖市武道館 ・神栖市文化センター ・ランニング・散歩コース ・神之池庭球場(テニスコート) ・神之池レンタサイクル	

●現況

「神栖」の市名の由来にもなった神之池(ごうのいけ)は、鹿島開発の時代に工業用地確保のため埋立てにより7分の1ほどの大きさになった。現在の池の面積は約44ha。池の周辺は、公園や運動・文化施設が整備されている。

●施設

1周4.4kmの神之池外周の遊歩道にランニング・散歩コースが、脚への負担の少ないゴムチップ敷きで整備されており、年配の方でも安心してウォーキングが楽しめる。

市民体育館や武道館、文化センターなどの施設もあり、市民の憩いの場として親しまれている。

2-1-5 神之池についての市民の意見

◆住民ヒアリング調査より

住民ヒアリング調査では、神之池についての特筆すべき意見はでていない。本市の名前の由来であることや市役所がある象徴的・中心的場所であるにも関わらず、市民の関心が低いことから、ワークショップで神之池に関する意見を得ることとした。

◆ワークショップより

神之池の交流人口の拡大のために必要な施策を検討するため、ワークショップを行った。ワークショップでは、A地点とB地点それぞれについて欲しい機能について意見をいただいた。

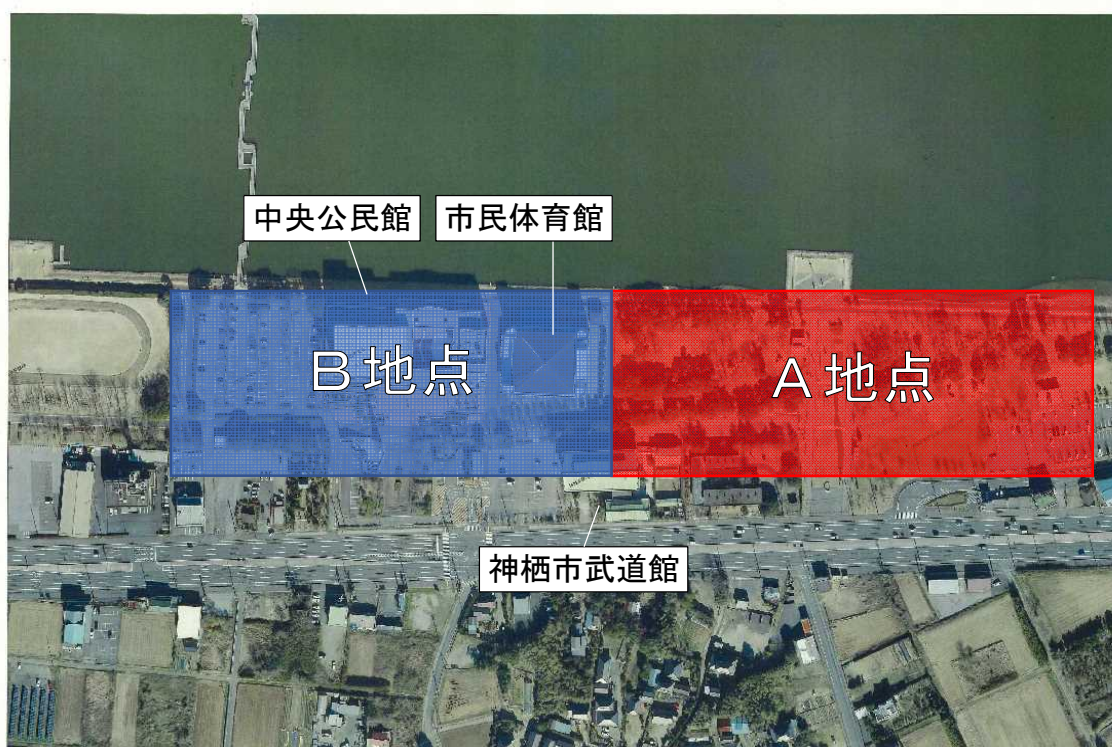
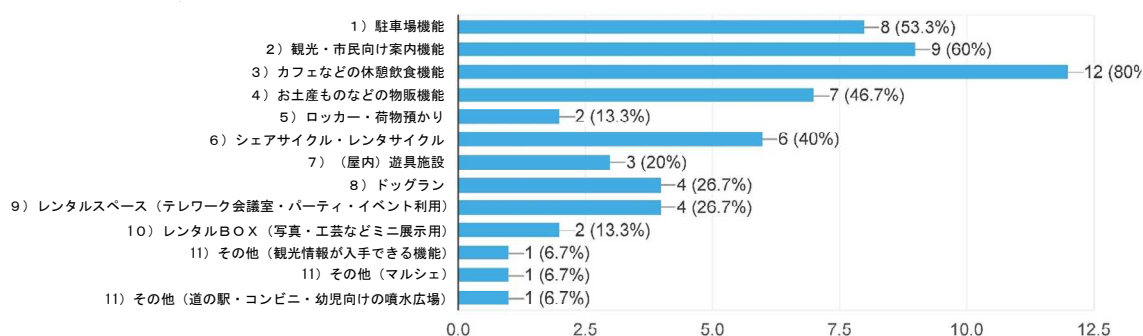


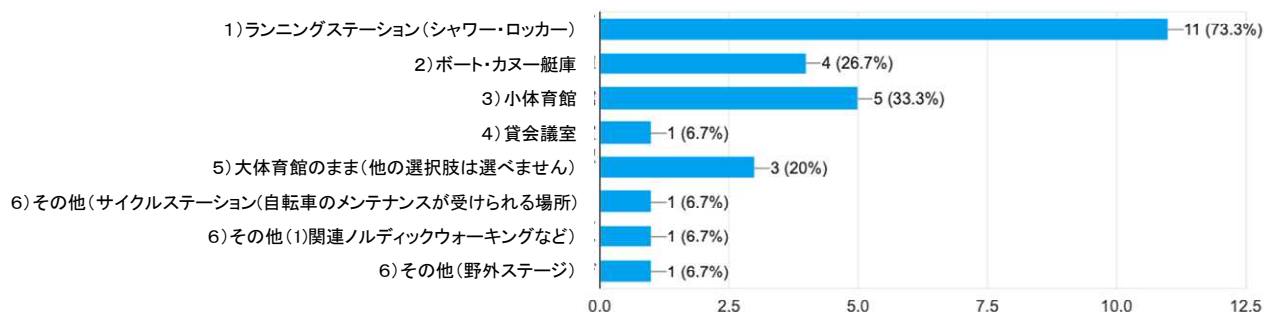
図 神之池に施設整備に関する図面

・カフェなどの休憩飲食機能, ランニングステーション整備への要望が高かった。市民の集まる場としてマルシェなどイベント実施などにも要望が寄せられた。

Q 神之池の A 地点に機能としてあったほうがいいもの・欲しいものを全てお答えください。(回答者:15人)



Q 神之池の B 地点については市民向けの「体験拠点」を考えております。現状の市民体育館について市民の日常的なスポーツのための施設として、機能を再検討しようと考えております。機能としてあったほうがいいもの・欲しいものを全てお答えください。(回答者:15人)



2-1-6 神之池周辺の施策素案

神之池の現状，ワークショップ結果等を踏まえ，神之池周辺の施設整備の方向性について，以下のとおりとする。

課題①

住民ヒアリング調査等においても神之池に対する意見はなく，他の観光拠点と比較して，市民の関心が少ない。

整備 方向 性

1. 利用頻度向上を図るため，来訪動機やきっかけとなるものの整備
2. 神之池が市名の由来であることの市民への周知
3. 利用者の意向・要望確認検討

※なお，検討にあたっては，観光客及び周辺住民などの意見を十分聴取した上で行う。

課題②

かみす桜まつりや花火大会時は，多くの人が集まるが，定常的には，ランニングやグラウンドゴルフ，施設利用者などで一部の市民に限られている。

整備 方向 性

1. 来訪動機や利用頻度向上のためのランニングステーション等の整備
2. ランナーや施設利用者向け軽飲食施設
3. 子供向け遊具など，子供＋大人での来訪が見込める施設

※なお，検討にあたっては，利用者及び管理者などの意見を十分聴取した上で行う。

課題③

神之池周辺には，桜をはじめとした多くの自然や神之池の景観，武道館，グラウンド等の運動施設や文化センターがあるなど高いポテンシャルを秘めているが，観光客の来訪が少ない。

整備 方向 性

既存の資源及び施設を活かし，新たな整備を行うことにより相乗効果を引き出すことが望まれる。

1. かみす桜まつり等の来訪客増加のための公園整備
2. 公園や施設を訪れた方がくつろげる休憩スペース(カフェ等)の設置
3. 施設の利用増に合わせた駐車スペースの確保
4. 神之池の水辺の景観や水辺を活かした施設

※なお，検討にあたっては，施設利用者のニーズ，施設管理者などの意見を十分聴取した上で行うこと。



図 神之池に関する施策素案

鹿島コンビナート
・夜景（遊覧船）
・ガラスのお城のようなイメージ
・工場見学

鹿島港内一周見学船「ユーリカ号」

千葉からの工場群煙突 故郷に帰ってきた安心感

1000人画廊

1000人画廊と風車 癒し系スポット

日川浜海岸 釣りスポット

波崎海岸
・地引網
・海水浴
・浜での駅伝練習

波崎海岸（海岸沿い道路）
・最高のサイクリングロード
・バイクでの通学

波崎漁港 釣りスポット

波崎海岸砂丘 植物公園

波崎海岸

サンサンパーク

旧波崎町営渡船場跡

銚子市街の夜景

ウナギ、しらす、漁の夜景

水産技術研究所

神善寺

大タブの木

手子后神社

童子女の松原公園

シーサイドパーク

矢田部サッカー場

波崎ウィンドファーム

ウチワサボテン群生地

ゆ〜ぽ〜とはさき

夢のひろば須田

大鳥神社

野鳥スポット
コウノトリ等が見られる

国道124号沿線の飲食店群

山本家住宅

神之池

神栖市役所

鹿島セントラルホテル（バー）からの夜景

鹿島セントラルホテル

歴史民俗資料館

かみす防災アリーナ

神栖中央公園

港公園・展望台・ユーリカ号

ふれあいセンター湯楽々

日川浜オートキャンプ場

砂山都市緑地

鹿島港・鹿島臨海工業地帯

なさか夕日の郷公園

息栖神社

忍潮井
以前は海水の中で清水が湧き出していた

土手
・夕日がきれい
・筑波山や鳥が見られる

常陸利根川
・夕日がきれい
・水上スポーツ
・サイクリング

息栖神社
・子どもの頃の遊び場
・宮司さんが面白い
・東国三社
・パワースポット
・森林浴
・サイクリングロードからみた対岸の景色
・参道方向の景色
・夕日と筑波山がきれい（夕焼けになれば最高）

渡船

常陸利根川サイクリングロード

野鳥スポット
アジサシ、かもめ、カワウ等が見られる

利根川河口付近
スナメリがいることもある

波崎新港

その他のご意見
【現状】
・お土産の目玉がない
・交通が不便
・マリンスポーツの拠点
【要望】
・ピーマン、パブリカの活用
・道の駅が欲しい
・物産センターの整備
・息栖神社 休憩施設の整備
・サイクルステーションの整備
・グランピングやワーケーションの拠点
・コミュニティスペースの確保
（観光客だけではなく、地域住民も親しめる場所）
・観光タクシー
・自動運転の実証実験
・海や川、農業を活かした体験
・市内外への観光情報の発信
・ものづくり（囲碁・将棋盤と船造りなど）の活用
・山本家住宅・弁財天・神栖総合公園の活用

2-3 プランの施策対象候補施設

本プランの施策対象候補施設を下記に整理した。今後は、まちのにぎわいづくりとして必要性が高い息栖神社と神之池について事業を進めていくとともに、息栖神社や神之池で増加した観光客を他の観光拠点へと誘導するため、各資源について順次取組みを検討していく。

■1000人画廊

〈現状・課題〉

スプレーなどによる落書きが多く暗い雰囲気のある場所であったため、市民などから製作者を募り、平成2年度から6年間かけて約5.8kmの整備を行ったが、経年劣化などにより、壁画の汚れなどが目立ち始めている。

〈今後の方針〉

景観維持のため、定期的に壁画製作の募集を行い、古い壁画部分を継続して書き直し誘客を図る。

■ふれあいセンター湯楽々

〈現状・課題〉

市民のリフレッシュ及びレクリエーション施設として設置された。大浴場・露天風呂・サウナ等を備え、ゆっくりとくつろげる大広間などがあり、また宿泊できるコテージもあるため、家族連れのお客さんも楽しめる。建設から20年以上経過しており、施設の老朽化が著しい。

〈今後の方針〉

施設改修計画の結果に伴い、長寿命化を図るとともに、施設のリニューアルし、誘客を図る。

■ゆ〜ぽ〜とはさき

〈現状・課題〉

市民のリフレッシュ及びレクリエーション施設として設置された。湯冷めしにくく、からだへの負担が少ない等張性の湯を使用した、しっとりほかほかの天然温泉である。建設から25年以上経過しており、施設の老朽化が著しい。

〈今後の方針〉

施設改修計画の結果に伴い、長寿命化を図るとともに、施設のリニューアルし、誘客を図る。

■ 日川浜オートキャンプ場

〈現状・課題〉

観光レクリエーション活動の場を確保するために設置された。約50区画のオートキャンプサイトは全面芝生であり、海水浴場に隣接しているため、海のレジャーや観光ベースキャンプとしても活用が期待できる。

〈今後の方針〉

当施設の隣接地が市有地となっているため、有効な活用方法を検討し、利用客増加を図る。

当施設利用者にバーベキュー用ピーマンを提供し、調理法も含めて市の特産品の一つとしてPRする。

■ 矢田部サッカー場

〈現状・課題〉

観光レクリエーション活動の場を確保するために設置された。天然芝に近い人工芝グラウンドが4面あり、快適にサッカーを楽しむことができることから、全国規模のサッカー大会の開催やスポーツ合宿などで利用されているが平日の利用客が少ない。

〈今後の方針〉

スポーツツーリズムを推進していき、合宿及びサッカー以外の種目を誘致し、利用者の増加を図る。

■ サンサンパーク

〈現状・課題〉

波崎漁港海岸の利用者の休憩の場として設置された。温水シャワーやトイレ、自動販売機もあり夏の海水浴シーズンには多くの人でにぎわっている。「カニ」の形をしている施設上部には、簡易展望台があり、海水浴場や波崎漁港を見渡すことができる。

〈今後の方針〉

茨城県からの指定管理施設であり、建設から20年以上経過しており、シャワー及びトイレ等の老朽化が目立っていることから、茨城県と協議し、施設改修を要望していく。また、夏期以外の利用客が少ないことから、景観づくりとして、継続して植栽整備や看板の設置を実施し、通年での利用者の増加を図る。

■日川浜海水浴場・波崎海水浴場

〈現状・課題〉

日川浜海水浴場は、海岸線に立ち並ぶ風車と広い砂浜の眺めのよさが人気であり、波崎海水浴場は、遠浅で水もきれいなため、環境省認定「快水浴場百選」に選ばれている。

〈今後の方針〉

レジャーの多様化などもあり、震災後利用者が減少していることから、利用客増加に向けて、海水浴場内の環境整備を実施し、安全で快適な海水浴場を開設していく。

■波崎砂丘植物公園

〈現状・課題〉

波崎砂丘植物公園は旧波崎町時代に整備され、ハマヒルガオやハマナス等の砂丘植物が植えられ、展望台デッキから太平洋を一望できた。また、管理事務所も併設されており管理人が常駐していた。しかし、管理事務所に人がいなくなり、現状では年に数回の草刈業務を行うのみの管理となっている。今は公園を散策する姿はあまりなく、サーファーの駐車場として使われることが多い。

〈今後の方針〉

令和2年度中に老朽化が進んだ管理棟を解体し、令和3年度にトイレの新設を行う。また、駐車場の再整備・街灯やサイクルラック等の設置を行い、地域の住民の方々や観光客が訪れやすい環境を作る。

また、神栖市美化運動推進連絡協議会と連携し、地域の住民も参加しながら植物を育てていけるような環境づくりを行う。

■港公園

〈現状・課題〉

港公園は茨城県により昭和50年から順次整備が開始され、昭和55年に地上52mの展望塔が設置された。神栖市は公園管理者である茨城県から指定管理業務を請け負っている。

この展望塔からは鹿島臨海工業地帯と太平洋を一望することができる。また日の入りが早い季節には、工場夜景を楽しむことのできる夜景スポットとしても知られている。

課題としては、港公園管理に関する財政的負担が大きいことが挙げられる。また、施設の老朽化も深刻で、令和2年度にはこれまでに施設補修を理由に予定されていた休館が2度発生しており、安全性が懸念される状態である。

〈今後の方針〉

令和3年度以降の冬期期間は開館及び閉館時間を1時間遅らせ、夜景を楽しみに訪れる観光客を呼び込み、利用者の増加を図る。

※なお当公園については神栖市は指定管理者であることから、公園の現状変更を市が行うことはできず、原則として茨城県が整備することとなる。

■常陸利根リバーサイドサイクリングロード

〈現状・課題〉

常陸利根リバーサイドサイクリングロードは、神栖市鰐川付近～太田（常陸川水門）付近までの常陸利根川の堤防上に整備された約 15km のサイクリングロードである。川の景色を望みながら、自動車を気にすることなく、サイクリングを楽しむことができる。太田（常陸川水門）付近より下流側は、堤防が完成していないため、サイクリングロードが整備されていない。

〈今後の方針〉

太田（常陸川水門）付近より下流側については、堤防の整備と合わせてサイクリングロードの整備を検討する。

サイクリングロードおよび市内を自転車で周遊する環境を整備するため、自転車専用通行帯や矢羽根の整備、休憩所等の整備や拠点間をつなぐためのサイクルコースの設定、各施設へのサイクルラック等の設置を検討する。

■その他施設

シーサイドパーク、なさか夕日の郷公園、ウチワサボテン群生地、神栖中央公園、神栖総合公園、砂山都市緑地、童子女の松原公園、夢のひろば須田などについても今後対応を検討していく。

3. 今後の進め方

本プランの実行後の効果測定については、令和3年度以降、個別の計画において定量的な KPI 指標の設定や、定性調査の方法などを事前設定し、調査し進捗や改善点の確認、専門家から助言、市民への意見収集を行い、手法に関しては見直しを行いながら実行するものとする。実行の上で新たに出てきた課題や、生じた新たな目的に手法としては柔軟に対応しながら、当初の目的の実現を目指す。

	2020年 令和2年度	2021年 令和3年度	2022年 令和4年度	2023年 令和5年度	2024年 令和6年度	2025年 令和7年度
計画	・まちのにぎわい づくりプラン策定	・息栖神社整備 計画策定 ・神之池整備計画 策定			・その他施策計画 策定	
調査		・ニーズ等調査				
実施			・息栖神社施策実施（令和4年度～） ・神之池施策実施（令和4年度～）			・その他施策実施
確認					・効果、継続確認 ・まちのにぎわい づくりプラン 効果測定	

図 まちのにぎわいプランの今後の進め方

参考資料

【まちのにぎわいづくり事業検討会委員について】

まちのにぎわいづくり事業検討会は、なめがたしおさい農業協同組合様、はさき漁業協同組合様、波崎水産加工業協同組合様、神栖市観光協会様、神栖市商工会様、一般社団法人 アントラズホームタウン DMO 様からの推薦者が委員となっている。

第一回まちのにぎわいづくり事業検討会

令和2年11月6日(金) 午後2時～ 神栖市役所 301会議室

第二回まちのにぎわいづくり事業検討会

令和2年2月12日(金) 書面開催

第三回まちのにぎわいづくり事業検討会

令和2年3月12日(金) 書面開催

【まちのにぎわいづくりワークショップ参加者について】

まちのにぎわいづくりワークショップは、なめがたしおさい農業協同組合様、はさき漁業協同組合様、波崎水産加工業協同組合様、神栖市観光協会様、神栖市商工会様、一般社団法人 アントラズホームタウン DMO 様からの推薦者、公募学生様、息栖地区様、息栖神社様や地元の意欲的な事業者の方々等から意見をいただいた。

第一回まちのにぎわいづくりワークショップ

令和2年11月30日(月) 午後1時～ 神栖市役所 301会議室

第二回まちのにぎわいづくりワークショップ

令和2年1月25日(月) 書面開催